

審議会委員意見集約結果

・提出意見数

委員 6 名

40 件

庁内からの意見数 5 件

【内訳】

※（ ）内は庁内からの意見数

項目	意見件数	備考
(1) 総論 第1章 基本計画の基本的考え方に関する意見	0	
(2) 総論 第2章 後期計画策定の背景に関する意見	2 (1)	
(3) 総論 第3章 地域経営の方針に関する意見	0	
(4) 総論 第4章 将来像を具体化した都市の姿に関する意見	6	
(5) 各論 第1章 計画の姿に関する意見	1	
(6) 各論 第2章 8つの地域づくりの方向に関する意見	3	
(7) 各論 第3章 計画事業に関する意見	30 (3)	
【計画事業体系・計画事業全般】	2	
【1-1 参加と協働の基盤づくり】	2	
【1-2 地域力の再生】	4	
【2-1 地域福祉の推進】	3	
【2-2 地域での自立生活支援】	1	
【2-3 健康】	1	
【3-1 子どもの権利保障】	1	
【3-2 子育て環境の充実】	2	
【3-3】	1 (1)	
【3-4 学校における教育】	1	
【6-2 魅力ある都心居住の場づくり】	1	
【6-3 交通体系の整備】	3	
【6-4】	1 (1)	
【6-5 安全・安心の確保】	1	
【7-2 産業振興による都市活力創出】	2	
【8-1】	1 (1)	
【8-2 文化芸術の振興】	2	
【8-3 生涯学習・生涯スポーツの推進】	1	
(8) 各論 第4章 公共施設の再構築・区有財産の活用に関する意見	0	
(9) 各論 第5章 新たな行政経営に関する意見	1	
(その他) 全体を通しての意見	2 (1)	
合 計	45 (2)	

(1) 総論 第1章 基本計画の基本的考え方に関する意見

(2) 総論 第2章 後期計画策定の背景に関する意見

番号	頁	項目	ご意見の概要	委員	対応等
1	7	社会の動向	我が国の活力の低下を生産性の国際比較の観点からとりあげてはどうか。	庁内	指摘のように修正した。
2	11・12	財政の状況	P11、P12 それぞれ歳入と歳出について書かれていると思われるので、「世界的不況の影響により、厳しい状況に」の後に「(歳入)」、「生活保護費の増加により、扶助費が増加しています」の後に「(歳出)」と入れてはどうか。	岡本委員	指摘のように修正した。

(3) 総論 第3章 地域経営の方針に関する意見

(4) 総論 第4章 将来像を具体化した都市の姿に関する意見

番号	頁	項目	意見の概要	委員	対応等
3	18・19	セーフコミュニティによる横断的な展開	「部門横断的・・・」「部門を超えた・・・」の「部門」がわかりにくい。	岡本委員	表現を修正した。
4	18・19	セーフコミュニティによる横断的な展開	セーフコミュニティの認証取得により、区民の生活がどのように変わるのか、区民のメリットなど具体的な説得力が欲しい。	仙浪委員	安全・安心創造都市としてご趣旨の内容については説明されていると考える。
5	17	豊島区が目指す姿	生涯健康都市の項目の中に福祉についての文言を入れて欲しい。 幼児期から～環境を整備し『すべての人が地域とともに支えあい心豊かに暮せる都市』	寺田委員	新たに都市像として「福祉増進都市」を個々の都市像の先頭に加えた。
6	22	生涯健康都市づくり	この部分に福祉の文言が必要。 「区民をはじめ地域活動団体など区が協働する「新たな支えあい」による地域福祉の推進」  「健康とともに豊かに安心して暮せる都市の実現」	寺田委員	
7	25	ICT活用能力の育成	ICTが理解できる表記をお願いしたい。	宮崎委員	ICTの説明文を欄外に掲載する。
8	28～31	環境都市づくり、都市再生	環境都市と都市再生はリンクしているように思う。低炭素地域社会の実現や緑化再生もすべて都市再生という中に含まれているので、環境・都市再生都市と一つにまとめるべきではないか。その分、福祉としての都市像を加えて欲しい。	寺田委員	低炭素社会の構築という観点での「環境都市」は地球的な観点と同時に身近なコミュニティづくりも含めて、区として引き続き重点的に取り組んでいくべき分野である。都市基盤の整備という観点からの「都市再生」と別個に都市像として取り上げたい。

(5) 各論 第1章 計画の姿に関する意見

番号	頁	項目	ご意見の概要	委員	対応等
9	37	重点施策	P37の重点施策のリストとP40、P43の重点施策がずれている。	岡本委員	指摘のように修正した。

(6) 各論 第2章 8つの地域づくりの方向に関する意見

番号	頁	項目	ご意見の概要	委員	対応等
10	40	あらゆる主体が参画しながらまちづくりを実現していくまち	<p>地域住民の交流の促進の中で、区民ひろばは中高生や障害者は対象になっていないという発言が区民部長よりあったが、そうであるならば世代を超えた交流の促進の中には超えることのできない部分があるということではないか。</p> <p>また、「区民ひろば」は児童館とことぶきの家の機能が統合されているのに、保健福祉部、子ども家庭部が「区民ひろば」構想にたずさわっていないのはおかしいのではないか。区民ひろばの発想はもっと多くの区民をまきこんだ空間として多様性の拠点となるべきであり、もとの児童館とことぶきの家の2つの機能だけが結びついた状態では意味がない。それならば別々で統合する必要がなかったのではないか。この問題を抜きにして自主運営化を推し進めるのは問題があるのではないか。</p>	寺田委員	<p>区民ひろばは誰もが利用できる地域コミュニティを活性化するための施設であり、中・高校生や障害者の方々の専用施設ではない。ご指摘のように、他部門と連携し、障害者や中・高校生向けの事業での更なる充実やユニバーサルデザインに配慮した施設改修を進める。また、ご意見を踏まえ、今後、中長期的な視点から区民ひろばのあり方について検討を行う。</p>
11	45・51	社会を明るくする運動	<p>政策3-5、政策6-5において、「社会を明るくする運動」を取り上げて欲しい。</p> <p>国の刑事政策の一翼を担う保護司の活動（対象者の更生援助、再犯防止、地域の犯罪予防活動）を区民に理解してもらいたい。</p>	仙浪委員	<p>政策4-2 平和と人権の尊重【現状と課題】に「社会を明るくする運動」の実施や、保護司会等との連携活動の重要性についての表現を追記した。</p>
12	49	3Rの推進	<p>「3Rの推進」についての説明がわかりにくい。</p>	宮崎委員	<p>49頁の記載を指摘のように分かりやすく修正した。</p>

(7) 各論 第3章 計画事業に関する意見

番号	頁	項目	ご意見の概要	委員	対応等
13	69-218	計画事業の事業費	新規事業についても事業費については明記して欲しい。	岡本委員	後期5年間の注力度を示す趣旨で事業量と事業費を記載しており、実施時期が未定の新規事業について事業費を記載することは困難であるので、現状のままとしたい。
14	69-218	計画事業の事業費	新規事業、施設建設事業について事業費が記されていない。	宮崎委員	後期5年間の注力度を示す趣旨で事業量と事業費を記載しており、実施時期が未定の新規事業や施設建設事業について事業費を記載することは困難であるので、現状のままとしたい。
15	69	1-1 参加と協働の基盤づくり	「1-1-1-3 貢献 区政連絡会運営事業」中、事業量に変化はないが、事業費が増えているのはなぜか。	宮崎委員	区政連絡会の委員報酬を改定したため、増加した。
16	71	1-1 参加と協働の基盤づくり	「1-1-3-1 基幹 地域区民ひろばの推進」の【事業内容】、乳幼児から高齢者まで（ここには中高生、障害者は別）という言葉が必要	寺田委員	現状のままとしたい。ただし、ご意見を踏まえ、今後、中長期的な視点から区民ひろばのあり方について検討を行う。
17	8・18 73	政策全般	第2章・2・豊島区の状況(P8)、第3章・1・セーフコミュニティの意義(P18)の中に単独世帯の多さが課題として挙げられているが、この課題に対する政策がほとんどない。	春田委員	第3章政策1-2「地域力の再生」(P73)に記載しているように、ワンルームマンション税などの対策を講じているものの、依然として当区によって非常に重要な課題であると認識している。ワンルームマンションの居住者のみを対象とした事業を設定することは困難だが、「地域力の再生」に記載されている事業は、そうした課題に対処してものであると認識している。これらの事業をはじめ全ての政策の構築と実施に当たっては、区民の世帯構成や生活実態を踏まえている。今後も、更にご指摘の趣旨を反映させた政策展開を行っていく。

番号	頁	項目	ご意見の概要	委員	対応等
18	72	1-2 地域力の再生	現在、繁華街周辺はもとより、住宅街でもマンション化が進んでおり、ほとんどが1DKの単独所帯もしくは夫婦のみ所帯用の賃貸住宅である。このままでは単独所帯は増加する一方であり、地域力の再生どころではない。この課題について、「1-2 地域力の再生」の現状と課題、或いは政策の概要の中で何らかの政策を講じ、記述してもらいたい。	春田委員	集合住宅に関する区の対応状況の記述を加筆した。
19	73	1-2 地域力の再生	「1-2-1-1 町会活動活性化支援事業」の【事業内容】、「・・・町会加入を促進するなど、町会活動の活性化を支援する。」を「・・・町会加入を促進し、 <u>入居者の町会活動への参加を促す</u> など町会活動の活性化を支援する。」と訂正できないか。マンション居住者の町会活動参加はほとんど期待できない状況であり、「防災訓練」の参加を条例で義務付けるなどの方法で町会活動に取り込んでいくことはできないか。	春田委員	前段については指摘の趣旨に沿って修正した。後段の町会活動への参加については、引き続き町会との連携を密にしながら、具体策を検討したい。
20	74	1-2 地域力の再生	「1-2-1-1 町会活動活性化支援事業」について、掲示板設置で町会活動の活性化を図れるコミュニティではなくなっている。隣近所の人々がちょっとあいさつ、話をするきっかけが町会の回覧板なのではないか。そのあたりをもっと大切にできる町会の活性化が重要と思う。	宮崎委員	回覧板についてはご指摘を十分認識しているが、実際の町会からの要望では、町会の金銭的負担が大きい掲示板の改修に強い要望があるため、まずは基盤整備を優先し、現状のままとしたい。

番号	頁	項目	ご意見の概要	委員	対応等
21	79	2-1 地域福祉の推進	<p>【成果指標】</p> <p>一人暮らし高齢者アウトリーチ事業の訪問件数、矢印が上向きに書いてあるだけだが、この訪問件数は、まず、3年ごとの定数の実態調査を予定しているはずである。この矢印の上向きは定数の調査の件数だとそんなに増加しないと思う。矢印を上向きにするとすれば、3年ごとの実態調査の間の3年間の見守りのための訪問件数が実際に重要な数になると思う。そうなれば、定数（実態調査）を超える見守りのための訪問件数となると思う。この矢印は実態調査件数を上回る矢印の上向きと考えるべきものであり、実態調査定数を上回る上向きとすべきではないか。また、実態調査の未調査のための訪問件数や3年ごとの調査とすると5年間の訪問の件数は何と比較するのか。むしろ定数件数を全部調査する数に近づけることの件数のほうがわかりやすく思う。</p>	寺田委員	<p>本事業は、実態調査の結果を踏まえ、支援を要する高齢者を訪問し、見守りを含めた必要な福祉サービスにつなげていく事業であるが、前期の指数がない中、一人でも多くの高齢者支援につなげるため、矢印を上向きとした。</p> <p>なお、「訪問件数」を「支援件数」に修正した。</p>
22	80	2-1 地域福祉の推進	<p>「2-1-1-1 見守りと支えあいネットワーク事業」で、見守り実施者数が減っているのはなぜか。</p>	宮崎委員	<p>今後は、本事業に加え、他の見守り関連事業を充実させ、幅広い見守り活動を展開していくため、本事業は21年度の実績をベースに算出した。</p>
23	82	2-1 地域福祉の推進	<p>「2-1-2-16 一人暮らし高齢者等アウトリーチ事業」の【事業内容】、活動するのは民生・児童委員だけではない。出来れば「地域包括支援センターや民生・児童委員等の見守り活動に活用する～」とすべきである。区やその他の機関と連携して行うと思う。</p>	寺田委員	<p>指摘のとおり、修正した。</p>
24	89～90	2-2 地域での自立生活支援	<p>「2-2-3 社会参加の促進」の中に基幹事業がなくていいのか。</p>	寺田委員	<p>社会参加の促進に関する施策の推進に当たり、各計画事業はその効果の拡大に寄与することが期待されるため、貢献事業とした。</p>

番号	頁	項目	ご意見の概要	委員	対応等
25	99	2-3 健康	「2-3-3-2 精神保健対策：相談事業」の【事業内容】、「・・・。嗜癖相談、講演会等も併せて実施している。」は「・・・実施する。」と記述したほうが良いのでは。ないか	春田委員	指摘のように修正した。
26	110	3-1 子どもの権利保障	中高生の居場所が問題である。5年間で1か所（本来ならば平成22年度に立ち上げるはずだったもの）。それは5年間で1つもないということではないか。東西で2か所では足りない。 何故に区民ひろばにそれができないのか。区民ひろばには中高生は駄目だということか。それならば、計画的に5年間で少なくとも中学校数（8）は必要ではないか。 また、障害者が地域で安心して暮せるための利用施設は身近な地区の中に存在するべきでないのか。「新たな支え合い」となれば、区民ひろばのような地区住民に見えて、風通しのよい場がいちばんいいはずだと思う。（P42）	寺田委員	中高生の活動の場のあり方について引き続き検討していくことから、『3-1-3-7 中高生センターの整備』後期事業量に「利用状況等を検証しながら、今後の設置について検討」の文言を追記した。
27	113	3-2 子育て環境の充実	「3-2-1-14 母子及び女性に対する貸付・就労支援事業」中、女性自立援助資金貸付件数が延29件から延15件に半減しているのはなぜか。	宮崎委員	女性自立支援助資金については、近年は事業開始や事業継続などの事業系資金の貸付がなく、修学資金を中心に貸付を実施している。 平成21年度における貸付実績は、修学資金の3件のみであり、23～27年の後期事業量はこれまでの実績を踏まえ、年平均3件×5カ年で合計15件とした。
28	114	3-2 子育て環境の充実	「3-2-2-2 ひとり親家庭医療費助成事業」で、対象者数が2千人ほど減っているのはなぜか。	宮崎委員	東京都へ提出する統計を算定基礎としているが、平成20年度から子どもの医療費助成対象者を除く数値に変更されたことに合わせて対象者数を算定したため。

番号	頁	項目	ご意見の概要	委員	対応等
29	119	3-3 幼児教育	「3-3-1-1 私立幼稚園児保護者援助事業」の事業量が成果指標とまったく同じ内容であり、計画事業の事業量として分かりにくいものとなっているので、例えば補助対象者数などのより分かりやすいものにしてはどうか。	庁内	指摘のように修正した。
30	121	3-4 学校における教育	【成果指標】 読書が好きな児童・生徒の割合について、中学校が現状値 78.1%から後期目標 72.0%に下がるのはいかがか。	宮崎委員	指摘を踏まえ後期目標を 80.0%に修正する。
31	171	6-2 魅力ある都心居住の場づくり	「施策の方向」文中、「……。狭小な住戸を有する集合住宅の建築を税により抑制し、ファミリー世帯向け住宅の供給を促すなど住宅ストックバランスの適正化を図ります。」単独世帯用住宅の建設をけん制するために下線部分を追加記載できないか。	春田委員	指摘のように修正した。
32	174	6-3 交通体系の整備	【成果指標】 ゼロを目標とすべき放置自転車の台数に数値が示されていることに違和感がある。	澤野委員	発生がゼロとすることが理想ではあるものの、短期的には減少を目的とせざるを得ないと考える。
33	177	6-3 交通体系の整備	「6-3-2-1 放置自転車等対策の推進事業」の【事業内容】の中に、 <u>原動機付き自転車等</u> の文言を入れてはどうか。	寺田委員	「放置自転車等」には自転車及び原動機付き自転車が含まれるので、【事業内容】の記載を指摘のように修正した。
34	179	6-3 交通体系の整備	「6-3-3-4 新たな公共交通システムによる交通戦略調査」中、LRTについて解りやすい表現にしてほしい。	仙浪委員	LRTについての注釈を記載した。
35	183	6-4 災害に強いまちづくりの推進	震災復興マニュアル（都市・住宅復興編）については22年度に完成予定であるが、今後、生活・産業復興編を作成する予定であり、基本計画の計画事業として記載しておく必要があるのではないか。	庁内	指摘のように記載した。
36	189	6-5 安全・安心の確保	【成果指標】 ゼロを目標とすべき犯罪発生件数に数値が示されていることに違和感がある。	澤野委員	発生がゼロとすることが理想ではあるものの、短期的には減少を目的とせざるを得ないと考える。

番号	頁	項目	ご意見の概要	委員	対応等
37	203	7-2 産業振興による都市活力創出	「7-2-2-29 就業支援事業」中、居住の確保、就労支援を積極的に推し進め、2度と犯罪を起こさせない環境づくりを保護司会でも行っていることを承知願いたい。	仙浪委員	区ではハローワークや他区等との雇用問題連絡会議及び庁内の連絡会議を開催している。今後さらに関係団体との情報共有を進めていく。
38	204	7-2 産業振興による都市活力創出	施策の方向で、消費生活相談の件数が増加傾向にあるとなっているが、「7-2-3-2 消費生活相談事業」の相談件数が減っているのはなぜか。	宮崎委員	相談件数について精査のうえ修正した。
39	208	8-1 文化によるまちづくりの推進	(仮称) 西部地域複合施設についてはソフト事業とともに施設建設事業も計画事業とすべきではないか	庁内	指摘のとおり、計画事業に追加した。
40	215	8-2 文化芸術の振興	「8-2-1-2 美術作品等展示・管理事業」区の収蔵美術品は何があるのか。リストは有るのか。	寺田委員	美術作品種類別所蔵数は別紙(P12)のとおり。別に詳細なリストがある。
41	217	8-2 文化芸術の振興	「8-2-2-4 としま文化フォーラム助成事業」中、参加者の延人数、開催回数どちらも減っているのに事業費が増えているのはなぜか。	宮崎委員	事業開始当初と比較して受講料収入が減少しており、助成金の増額を見込んだため。
42	222	8-3 生涯学習・生涯スポーツの推進	「8-3-1-9 生涯学習センターの整備」、区で生涯学習センターを整備する必要があるのか。区内の6大学が各々生涯学習に取り組んでおり、それぞれの特色を活かしていけば区でセンターを運営する必要はないと思う。	宮崎委員	区民の学ぶ場が多様化するなか、今後は行政による直接的な学習プログラムの提供から、大学も含めた民間機関との連携や区民の主体的な学習支援へとシフトしていくべきと考える。その意味で、多様な「学び」をコーディネートする機能を担う生涯学習センターの必要性は益々高まっており、計画どおり整備を進めていく。

(8) 各論 第4章 公共施設の再構築・区有財産の活用に関する意見

(9) 各論 第5章 新たな行政経営に関する意見

番号	頁	項目	ご意見の概要	委員	対応等
43	234	持続可能な財政構造の構築	162億円の債務超過があるのに、5年後には区民一人あたり±0円にするとあるが、新庁舎建設を実施した場合でも区の財政構造は233-234頁に示されているような内容であるのか。	宮崎委員	同頁の見直しには、既に新庁舎建設の主たる歳入（現庁舎地活用182億円）・歳出（新庁舎等整備180億円）が含まれており、新庁舎建設での新たな債務増加は想定していないことから、今後の債務と基金の格差圧縮の努力には特段影響しないと考えています。

(その他) 全体を通しての意見

番号	頁	項目	ご意見の概要	委員	対応等
44			全体として、中学生、高齢者、障害を持つ人達への社会参画の場が少ない。	仙浪委員	具体的な事業の展開にあたり留意してまいりたい。
45	2 18	将来像の記載箇所	2ページ第1章1に「計画の目的と性格」と合わせて「将来像」が記載されているが、18ページ第4章1にも「豊島区が目指す姿」が記載されている。重複した記述を整理した方がよい。	庁内	指摘に合わせて記述を整理した。

※ 以上の他にも、表現・記述に関するご指摘をいただき、反映いたしました。

(別紙)

豊島区美術作品種類別所蔵数 (平成22年12月現在)

種類	数	種類	数	
油彩	185	洋画複製	40	
日本画	87	その他	2	
書	26	熊谷守一美術館	クレパス画	20
彫刻	280		鉛筆	9
工芸	22		墨絵	66
版画	66		油彩画	23
資料	46		書	25
水彩画	64		彫塑	3
素描画	427		陶芸品	7
洋画	1		合計	1399